



草津市教育委員会だより

コンパス

COMPASS

第12号

発行：平成28年3月1日
草津市教育委員会

老上西小学校が4月に開校

市内で最も児童数の多い老上小学校を分離して誕生する老上西小学校は、本市で14番目の小学校として、この4月に開校します。

施設面では、太陽光発電、風力発電機付き外灯、人感センサー付きLED照明による省電力化や、複層ガラスの採用による高断熱化など、地球環境に配慮しています。

さらに、「学校の教育力を高める」うえで、良好で質の高い学びを実現する環境とするため、二階建ての普通教室棟は、柔らかくぬくもりのある木造校舎とするとともに、児童の交流を促進するオープンスペースを確保したり、上下階のエントランスホールを結ぶ大階段を設置するなど、心身ともに健やかな成長を促せるよう配慮しており、開校時には、約740人の子どもたちが学ぶ予定です。

また、災害時には地域の防災拠点とするため、防災備蓄倉庫を設置するとともに、浸水時の対策として受電設備を屋上に配置するなどの備えをしています。

開校後は、子どもたちが誇りを持って学ぶことができる小学校、子どもたちはもとより地域の皆様にも末永く愛され、親しまれる小学校、地域に開かれた小学校となるよう期待されています。



校章

<制作趣旨>

母体となる老上小学校の校章である桜を流用し、かつ背後に重ね、地域が見守る様として描かれています。

また、五つの小円で児童が輪になり、学び、遊ぶ姿、そして外側の花びらで湖に飛び交うコハクチョウ等がイメージされています。

デザイン
居関 孝男さん
京都府



表現の場になる多目的な大階段



校庭から見た校舎



木のぬくもりが感じられるフリースペース(2階)

問 開校準備室 TEL(561) 6542
FAX(561) 2488

時間と空間を超えて学び合う 「遠隔授業」 「テレビ会議システム」を活用した授業実践の取組

草津市では、文部科学省からの委託を受け、平成27年度より「テレビ会議システム」を取り入れた「遠隔授業」に取り組んでいます。「遠隔授業」とは学校(教室)と遠隔地をインターネット回線をつなぎ、ライブでの映像・音声のやりとりを通して交流したり、理解を深めたりする学習形態の一つです。

「遠隔授業を取り入れることで、これまで実際に現地に向くことが困難(距離的・時間的・経済的な制限など)で、十分な学習や調査に取り組めなかった活動も、教室にいながら行えるようになります。また、移動時間や経費、活動人数に制限されることもないため、多様で弾力的な活動を計画することができ、新たな学びのあり方を生み出すことにもつながっています。市内小中学校においては、卒業を控えた6年生児童

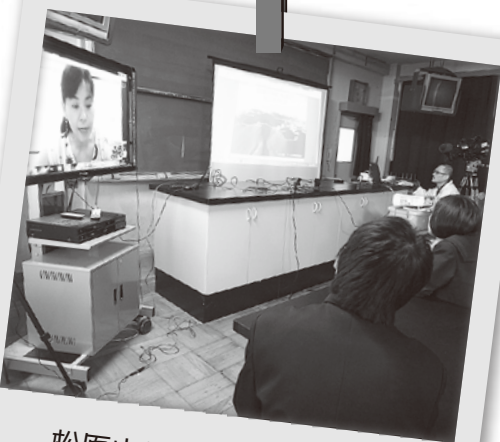
が中学校の様子を模擬的に体験し、生徒会役員と質疑応答する活動や、フローティングスクールで出会った近江八幡市立沖島小学校の児童との交流活動、ハワイの国立天文台職員による天文に関する話を聴講するなど、新たな試みが実施されてきました。遠隔授業に取り組んだ児童生徒からは「聞きたいことをすぐに教えてもらえてわかりやすかった」「普段なら絶対に出会えない人と交流できて嬉しかった」「次はどんな遠隔授業になるか楽しみ」などの感想があり、学習への意欲関心の高まりや、理解の深まりが見られました。これまでの実践の多くは、学校と遠隔地を中継した一対一の学習形態が主なものでした。今後は、同時に複数の参加者による接続が可能なテレビ会議システムの特徴を生かした、一対多数や複数対複数など、新たな学びの形を検討していきます。



山田小学校での遠隔授業
「中学校生活について知るう」
(総合的な学習の時間)



志津小学校での遠隔授業
「沖島小学校との交流」
(社会科)



松原中学校での遠隔授業
「ハワイ国立天文台職員から学ぶ」
(理科)



玉川小学校での遠隔授業
「立命館大学教授から学ぶ」
(総合的な学習の時間)



第15回

熱弁 熱戦

草津市こども環境会議

1月30日(土)市役所の1階・2階の会場にて開催

第1部

「こどもと大人の環境井戸端会議」では、「人と生きもののいい関係」をテーマに、小中学生のパネリストが「生きもの」と「人」の立場から意見を交わすと、会場からも意見・質問が出て、熱い意見交流となりました。外来種も固有種も、それぞれの特性や関係性に関心を持って学ぶことや、多様な生きものがバランスを保って生息できるような草津の環境を守っていくことの大切さを感じる会議でした。



環境井戸端会議

第2部

「エコ活動取材ラリー」では95のブースで環境をテーマに取り組みの報告がされました。ふるさと草津の自然環境に関わる取り組みや調査について、さまざまな学校や団体からの報告がありました。ラリー形式でブースを回りながら、熱心に質問する姿や、自分たちの取り組みや環境についての願いを一生懸命に伝える姿が見られました。



エコ活動取材ラリーの様子

第3部

「かざぐるまパワーコンテスト」では、11の小中学校から23チームが参加し、手作りのかざぐるまでおもりを巻き取る速さを競うレースを行いました。決勝戦は中学校5チームの対決となり、優勝は高穂中学校のチームでした。小学生チームも健闘し、来年度の躍進が期待される中、こども環境会議の幕を閉じました。



多数のかざぐるま
パワーコンテスト!!

また、1階の展示スペースでは、「かざぐるま面白工夫展」として、市内小中学校有志の児童生徒より、色やデザインで工夫を凝らしたかざぐるまの作品が出展され、来場者の方々に楽しく鑑賞いただきました。今年度は、矢倉小学校2年4組の力を合わせた合同作品が「実行委員長賞」を受賞しました。



かざぐるま面白工夫展 実行委員長賞受賞作品
(矢倉小学校)

就任のごあいさつ



草津市教育委員会
教育委員
周防 直美

この度、草津市教育委員会の教育委員に就任いたしました周防直美と申します。草津市の教育に携わる喜びとともに責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

今は、変化の激しい不確実な時代です。教育には今までどおりの知識の習得だけではなく、思考力・判断力・表現力の育成、そして主体性も求められています。このような能力を得るには、教室で授業を受けるだけでなく、様々な経験が必要です。子どもたちが生き生きとたくさんの経験を積み、希望をもって未来を切り拓くには多くの大人の力も必要です。保護者・学校・地域・行政がそれぞれの役割を担いながら連携し、協力していききたいものです。

微力ながら、草津市の教育の発展に努力してまいりたいと思えます。よろしくお願いいたします。

成人式を迎えて

「踏み出せば、ほり、未来はまじり」

1月11日(月・祝)に草津クレアホールで「平成28年成人の日記念式典・20歳のつどい」が開催され、約850人の新成人で会場が埋め尽くされました。この式典・つどいでは、新成人で組織された「20歳のつどい実行委員会」が中心となって、「Only one's future」それぞれの未知へ」をテーマに、準備段階から企画運営まで幅広く進めてきました。今までの人生を支えてくれた人々に感謝の気持ちを伝えると同時に、責任を持った大人として前を見据えながら、自分の未知なる路(みち)へしっかりと進んでいこう、というメッセージに参加者全員で共有できた新たな人生の1ページにふさわしい門出の日となりました。



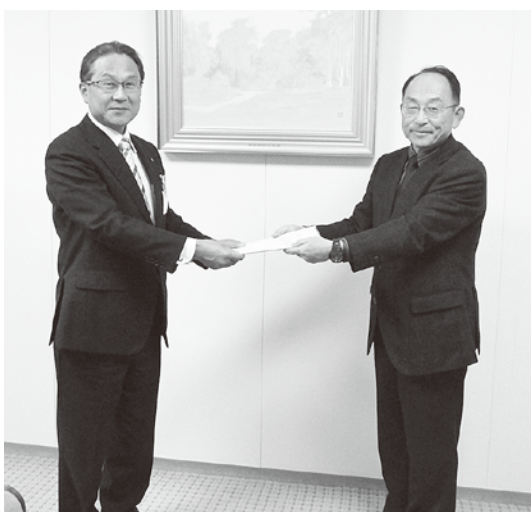
問 生涯学習課

TEL (561) 24427
FAX (561) 24488

「草津市スポーツ推進計画」を策定します

草津市では、平成23年4月に「草津市スポーツ振興計画」を策定し、これまで様々なスポーツ振興にかかわる取組を行ってまいりましたが、振興計画策定後のスポーツを取り巻く環境の変化による新たな課題に対応するため、「草津市スポーツ推進計画」を策定します。

推進計画では、これまでの取組の成果や課題等を踏まえ、草津市が目指すスポーツ推進の方策を見直し、草津市のスポーツ健康づくりのさらなる推進を図ります。



草津市スポーツ推進審議会 佐藤会長(立命館大学特別任用教授)から、推進計画に関する答申を受ける川那邊教育長

問 スポーツ保健課

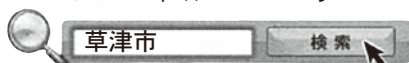
TEL (561) 24432
FAX (561) 24488

記事に対するご意見、ご感想などがございましたら、下記までご連絡ください。

草津市教育委員会事務局 教育総務課

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL : 077-561-2425 (直通) FAX : 077-561-2488

教育委員会の活動については、草津市ホームページでご覧いただけます。http://www.city.kusatsu.shiga.jp/



「コンパス」は、円を描く道具と、方位を示す羅針盤の二つの意味を持っています。

本誌の提供する情報が皆さまの「縁」や「輪」を描くことができるように、また、教育の進む方向を示す道しるべとなるように、という想いを込めています。

